



校訓 一、自主自律 一、独立自尊 一、進取気鋭

Hachiman Commercial Senior High School Alumni Association Newsletters

ごあいさつ



会員の皆様 お元気ですか、コロナウイルスに負けずに元気にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年は各支部の総会に出席させていただき近江尚商会創立130年の記念行事の予定や会の現状報告などさせて頂きました。野球部の後輩や若い時からの知人等懐かしい方々にお会い出来、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

八商の持つ伝統の素晴らしさ輝きが個々の会員に表れ力強いパワーを頂きました。

近江尚商会会長 中 村 浩

しかし今年はコロナウイルスの感染が激しく会合の中止が沢山見受けられ業界の会合、地域の集まり、同窓会、部活の懇談などコロナの収束が見えず残念な思いを致しました。しかし楽しみが少し伸びたと思ひ納得しましょう。コロナウイルスには絶対負けられない！今日まで生きて来た人生の最終節がこれでは寂しい、全員が肩を組み大きな声で校歌が歌える日を期待し待つ事の楽しみを味わいたいと存じます。会員皆様のご多幸を祈念致しましてご挨拶とさせていただきます。

以上



近江尚商会の皆様には、母校「八商」の様子を日頃から気にかけていただき、教育活動にご理解を賜り、誠にありがとうございます。また、新型コロナウイルス

感染症の拡大に伴う休校中には、入手が困難であったマスクや消毒液を生徒・教員のためにと多数ご寄付いただきましたこと、感謝に堪えません。改めて御礼申し上げます。

さて、令和 2 年度は、SPH 指定校終了後 1 年目となりましたが、この成果を生かした特色ある事業を継続して展

滋賀県立八幡商業高等学校 校長 櫛 村 芳 明

開し、全国の商業高校のリーダーを目指そうとしていました。しかし、このコロナ禍により様々な事業の中止を余儀なくされ、残念に思っております。

来年度以降は、with コロナの時代にマッチする取組みとして仕切り直し、これまで以上に「八商」としての評価を高めるビジネス教育の活動を進めて参りたいと考えております。会員の皆様方には、さらなるご支援とご協力を賜りますようお願いいたし、ご挨拶とさせていただきます。

令和 2 年度 近江尚商会役員組織

会長

中村 浩 (75回)

顧問

川村 純市 (70回)

橋本 健 (72回)

白井 治夫 (72回)

副会長

柴田 雄 (78回)

中野 憲司 (85回)
(東京尚商会)

喜多川 秀男 (90回)
(近江八幡支部)

福井 義定 (79回)
(京都支部)

村田 光男 (83回)
(阪神支部)

岡田 ひで子 (92回)
(女性部会長)

麻原 育夫 (90回)
(東海支部)

会計監査

杉田 弘治 (71回)

隋井 義子 (75回)

本部役員

福永 博行 (86回)

岩佐 正博 (87回)

大野 泰男 (87回)

井上 京子 (94回)
女性部会

太田 淳子 (96回)
女性部会

奥村 伸司 (97回)

村松 謙衛 (105回)

中西 利之 (106回)
会報委員長

副会長 柴田 雄 (78回)

近江八幡支部長 喜多川 秀男 (90回)

女性部会長 岡田 ひで子 (92回)

本部事務局

事務局長 大橋 正幸 (93回)

事務局次長 山口 比呂美 (95回)

事務局員

平野 みゆき (98回)

中村 正人 (106回)

池川 隼人 (110回)

小川 健太 (119回)

藤森 景子 (119回)

北岡 明子 (120回)

令和元年度 近江尚商会会計 決算書報告書

(単位 円)

収入の部			
項 目	予 算 額	決 算 額	
前年度繰越金	2,108,193	2,108,193	
入会金	2,350,000	2,330,000	
年会費	1,300,000	1,225,000	
支援協力金	1,000,000	1,220,200	
寄附金	97	165	
雑収入	70,000	78,000	
預金利息	10	14	
合 計	6,828,300	6,961,572	

収入決算額	支出決算額	差引残高	備 考
6,961,572	5,550,330	1,411,242	次年度へ繰越

支出の部			
項 目	予 算 額	決 算 額	
会議費	700,000	849,956	
旅費	230,000	238,661	
支部活動費	300,000	539,881	
通信費	50,000	45,679	
リスト出力代	50,000	48,760	
事務局費	200,000	200,000	
会報費	2,200,000	2,058,976	
事業費	2,000,000	853,424	
振込手数料	80,000	114,663	
新入会員記念品代	200,000	156,110	
史料館整備費	700,000	160,000	
雑費	80,000	114,020	
予備費	38,300	170,200	
合 計	6,828,300	5,550,330	

令和2年3月31日
近江尚商会 会計監査 杉田 弘治
会計監査 随月 義子

全国支部長会議報告

令和2年度の「全国支部長会議」は7月23日（木・祝）、ホテルニューオウミで開催されました。
各議題および報告事項は下記のとおりで、満場一致で可決されました。

1. 令和元年度 事業報告について
2. 令和元年度 会計報告および会計監査報告
3. 令和2年度 事業計画（案）について
4. 令和2年度 会計予算（案）について
5. 令和2年度 近江尚商会役員組織について
6. 令和2年度 会報発行について
7. 近江尚商会創立130周年記念事業について
8. その他 年会費納入状況について他



令和2年度 事業計画

1. 近江尚商会 創立130周年記念事業準備
2. 女性部会の活動
3. 次世代会員の集い開催
4. 近江尚商会 会報発行
5. 各支部活動の活性化
6. 母校教育活動への支援
7. その他 各種団体の行事への参加



近江尚商会創立130周年記念事業への協力お願い

近江尚商会は、明治25（1892）年2月18日に滋賀県立八幡商業高等学校の同窓会として発足しました。

令和4（2022）年に、創立130周年を迎えるにあたり八幡商業高等学校の発展を応援するため、史料館の改修工事費や近江商人再生プロジェクト応援基金等を拠出していく所存でございます。

また、令和4（2022）年12月4日には、記念式典の開催を予定しておりますので、多数のご参加をお待ちしております。
みなさまのご協力・ご支援をお願いいたします。

募金の期間：令和3年5月頃～令和4年11月30日（予定）

募金の方法：1口5,000円

1. 郵便（コンビニ）振替 「近江尚商会創立130周年記念実行委員会」口座へ
2. 現金書留 滋賀県立八幡商業高等学校内「近江尚商会創立130周年記念実行委員会」あて
3. 現金 各実行委員より「近江尚商会創立130周年記念実行委員会」事務局へ

※正式な協力への趣意書を、後日送付させていただきます。



編集後記

今回の会報誌はコロナ禍により、編集会議も開催できず残念ながら簡略した会報誌となりました。次回の会報誌は、例年と通りの発行ができるよう取り組んでまいりますので、ご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。（中西）